連続勝利石川

5回3失点　直後逆転

プロ野球新記録となる24年連続勝利を達成した石川。マスコットのつば九郎と並んで笑顔を見せた（カメラ・豊田秀一）【上】5回3失点で今季1勝目を挙げた

45歳187勝目

ヤクルト・石川雅規投手（45）が9日の阪神戦（甲子園）でプロ野球新となる24年連続勝利を挙げた。5回3失点（自責1）と試合をつくると、6回に味方が5点を奪い逆転。救援陣もリードを守り抜き、通算187勝目が舞い込んだ。球団マスコットのつば九郎が31年前のこの日にデビュー。以来、担当してきたスタッフが今年2月に急逝したが、入団以来、背中を押してくれた〝盟友〟の節目の日につかんだ1勝で、大目標の通算200勝に前進した。

「常に今も」共に

小さな巨人が金字塔を打ち立てた。石川はゲームセットの瞬間、ベンチで仲間たちとハイタッチし、喜びを分かち合った。プロ野球新となる24年連続勝利だ。「一人でできる数字ではないですし、支えてくれた家族、使い続けてくれた監督さん、コーチ、裏方さん、そしてファンの皆さんのおかげ」と感謝の言葉を残した。

31年前つば九郎のデビュー日「勝たせてくれたのかな」

粘りで白星をつかみ取った。2回に自らの失策も絡んで3失点も、5回まで投げ抜いた。すると打線が6回に一挙5点を奪って逆転。救援陣も必死に守り切って、今季初登板初勝利が輝いた。

運命に導かれたかのようだった。4月9日は、つば九郎が1994年にデビューした日。以来、担当していたスタッフが2月に急逝した。「いつも『石川くん、頑張ろう』ってケツをたたいてくれた」と入団時から世話になった〝相棒〟のちょうど31年の節目に、24年目もまだ健在であることを天国に伝えた。「つば九郎と常に今も戦っているつもり。デビューした日に勝てたというのはつば九郎が勝たせてくれたのかな」と柔和な笑みを浮かべた。

08年、復刻ユニホーム発表会見でつば九郎と写真に納まる

キャリアを積むごとに自身のパフォーマンスを最大限発揮するための努力を突き詰めてきた。「コンディショニングを整える」が口癖のベテランは、午前6時前に起床する。まずは両手の指を動かし、異常がないかどうかチェックをしてから一日がスタートする。朝食前にはストレッチをしながら体を起こし、朝食後は決まってジムで風呂やサウナに入り体を温めるのがルーチン。球場入りする前から最善の準備を施す。

適正体重は「74・5～75キロ」だが「食べたくない時は食べない」と厳格なルールは設けず。食事の回数も3食に限らず、体重を見ながら間食も挟んで5食取る日もある。夕食は1時間以上をかけてゆっくりかむことを心がけるのも消化器官への負担を考えてのことだ。

昨オフから睡眠の質を向上させるために「DENBA」という器具も導入した。体内の水分子を微細振動させ、疲労軽減する効果がある。細胞レベルで体のケアに努める。「朝起きた時に左手の小指辺りがしびれていた」という悩みも改善されてきた。24年間も現役を続けてこられた秘訣（ひけつ）は常人にはまねできない探究心にある。

通算200勝へ残り13勝。「この1勝で終わるつもりはない」。挑戦はまだまだ続く。（長井　毅）

◇石川雅規（ヤクルト）の年度別投手成績◇

年度（年齢）	登板	勝利	敗戦	投回	三振	防	順位
02（22）	29	12	9	178⅓	104	3.33	⑩
03（23）	30	12	11	190	97	3.79	⑧
04（24）	27	11	11	163⅓	72	4.35	⑩
05（25）	26	10	8	149⅔	105	4.87	⑬
06（26）	29	10	10	151	81	4.53	⑮
07（27）	26	4	7	96⅔	50	4.38	—
08（28）	30	12	10	195	112	2.68	①
09（29）	29	13	7	198⅓	84	3.54	⑭
10（30）	28	13	8	186⅓	98	3.53	⑧
11（31）	27	10	9	178⅓	127	2.73	⑪
12（32）	27	8	11	172⅔	100	3.60	⑱
13（33）	24	6	9	148⅓	85	3.52	⑫
14（34）	27	10	10	165	101	4.75	⑮
15（35）	25	13	9	146⅔	90	3.31	⑬
16（36）	20	8	8	116⅔	52	4.47	—
17（37）	23	4	14	123⅓	88	5.11	—
18（38）	22	7	6	110⅔	78	4.88	—
19（39）	23	8	6	124⅓	88	3.84	—
20（40）	15	2	8	76⅓	41	4.48	—
21（41）	17	4	5	82	54	3.07	—
22（42）	16	6	4	84	39	4.50	—
23（43）	13	2	5	63⅓	22	3.98	—
24（44）	9	1	4	37⅓	10	4.10	—
25（45）	1	1	0	5	2	1.80	—
通算	543	187	189	3142⅔	1780	3.88	

【注】年齢はその年の満年齢。白ヌキはタイトル獲得、防御率順位の—は規定投球回不足。9日現在。

工藤 山本昌 番長抜いた

記録メモ

▼…石川（ヤ）が新人だった02年から24年連続勝利。24年連続勝利は（所属は最終勝利の球団）、工藤公康（横浜＝85～07年）、山本昌（中＝88～10年）、三浦大輔（D＝93～15年）の23年連続を抜いてプロ野球最長。

▼…石川は45歳2か月。45歳以上で勝利は、14年9月5日阪神戦で最年長49歳0か月の勝利を含め13勝の山本昌（中）、浜崎真二（阪急）が5勝、工藤公康（横浜）が2勝で、石川が4人目。

▼…24年連続で1軍登板。実働年数（1軍出場の年数）が24年以上は（所属は最終）、29年の工藤公康（西＝82～10年）、山本昌（中＝86～10、12～15年）、中嶋聡（日＝87～15年）をはじめ10人目。過去9人はいずれも高卒入団。大学、社会人経由で24年は、社会人経由の門田博光（ダイエー）、真弓明信（神）の23年を上回り最多年数。

▼…投手で24年以上出場は、29年の工藤、山本昌、25年の三浦大輔（D＝92～16年）に次いで4人目。24年連続は29年連続の工藤、25年連続の山本昌、三浦に次いで4人目。

石井コーチ「一番の熱投派」山野「試合日近寄れない」石山「博士」

同僚語る〝ウラの顔〟

ヤクルト・石川の同僚たちが世に知られていないベテランの性格やグラウンド内外での行動を明かし、大記録の背景に迫った。（取材・構成＝長井　毅）

負けず嫌い

石井投手コーチ（以下、石）「マウンドさばきは技巧派ですけど、ああ見えてチームで

山野（以下、山）「試合の日は『今はあまり近寄らない方がいいかな』と思う時がありますね」

石「マウンド上に行くと一番カリカリしているのはアイツ。普段は温厚でいい人なんだけど、マウンド上では話をしても『はい！　はい！』って返事はしていますけど、多分耳に入ってないんだろうなって思う。いつもプンプンしてる。昔から変わらないよね

度、チームで体脂肪を測定する日があるんですけど、自分が納得できる数値が出ない時にトレーニング用のバイクを20分こいでからまた測る。数値がすぐに変わるかどうかは分からないですけど、負けず嫌いなところが出てますよね」

気遣い

小「後輩のメンタルケアというか、打たれた時に何げな

点した試合後に『そういうのはみんな一度はあるから、いい経験として次に生かして頑張ればいいよ』って石川さんだけがメッセージをくれました」

石山「体のケアに対する知識がすごい。めちゃめちゃ引き出しがあって博士みたいな感じですね。僕自身、若い時は不安でがむしゃらに練習をやっていた。石川さんは『どこかで体を休ませるのも大事だよ』って。自分のパフォーマンスを出すにはしっかり体を休めるっていうこと。当時はあまり分からなかったんですけど、今になって石川さんが言ってた通りなのかなって思います」

（長井　毅）

開幕から球団ワースト　ホーム5戦0勝……3位に転落

ミスが相次ぐ逆転負けで首位から3位に転落した。52年のフランチャイズ制導入後、開幕からホーム5戦勝ちなしは球団ワースト。藤川監督は「またあした、しっかりといいゲームを何とかしたい」と唇をかんだ。3点リードの6回無死二、三塁で投入した育成ドラ1右腕・工藤が2暴投で2点を失い降板すると、同点とされ、なお1死二、三塁で一塁手・大山が本塁悪送球で勝ち越し点を献上。連敗で勝率5割に逆戻りとなった。

▽T欠場　阪神・佐藤輝明内野手（26）が体調不良のため、9日のヤクルト戦（甲子園）を今季初めて欠場。

左膝手術決定　塩見今季絶望

ヤクルトの塩見泰隆外野手（31）が左膝の手術を受けることが9日、分かった。全治は不明だが今季中の復帰は絶望的。3月22日の日本ハムとのオープン戦（エスコン）で、6回の守備時に負傷。23日に帰京して検査を受けていた。

昨年5月には左前十字靱帯（じんたい）と左半月板を損傷し、左太もも裏の靱帯を移植する再建術を受けた。長期のリハビリを経て復帰したオープン戦は9試合で打率

打、2打

が仕事な

ことはう

いただけ

脱はチー

恨だ。

【9日・大宮公園】開始18時（2時間21分）
審判　敷田（球）村山、山路、山本力
◇2回戦・1勝1敗　◇観衆16,734

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
安打	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
ロッテ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西武	2	0	0	0	0	0	0	0	X	2
安打	5	0	0	0	0	1	0	1		7

勝利打点＝中村剛　初回先制打

勝　菅井　1試合1勝
敗　西野　2試合1敗
セーブ　平良　3試合1セーブ
▶二＝ネビン

ロッテ		打数	得点	安打	打点	三振	四死	犠打	盗塁	失策	通算打率	本塁打	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
（右）	岡	3	0	0	0	2	1	0	0	0	.333	①	四球……中飛……三振……三振
遊	茶谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—		…………
（二）	藤岡	2	0	1	0	0	2	0	0	0	.115		三邪……右安……四球……四球
（一）	ソト	3	0	0	0	1	1	0	0	0	.243	③	一邪……三振……四球……二飛
指	ポランコ	4	0	0	0	3	0	0	0	0	.211		中飛……三振……三振……三振
（中）	高部	4	0	0	0	0	0	0	0	0	.278		……三邪……中飛……左飛……投ゴ
（三）	中村奨	3	0	1	0	0	1	0	0	0	.222		……中飛……右安……二ゴ……死球
（左）	西川	4	0	0	0	0	0	0	0	0	.143		……三ゴ……右飛……中飛……二ゴ

新打線ズバリ

新庄監督が打線組み替えを自画自賛した。同点の5回、吉田、レイエスの連続二塁打などで辛島をKO。代わった内から、清宮幸が2点二塁打で追加点を奪った。指揮官は「久々にはまって気持ちいいですね。吉田くん、レイエス、郡司くんが辛島くんからヒットを打

ちょっと

右ピッチ

に、（走

きに清宮

て。はま

顔だった

魚雷　万波

米大リ

いる特殊

【9日・楽天モバイルパーク宮城】開始18時（3時間37分）
審判　吉本（球）長井、山本貴、岩下
◇2回戦・日本ハム2勝　◇観衆20,007

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
安打	1	1	2	1	4	1	0	5	2	17
日本ハム	0	1	0	0	3	0	0	4	0	8
楽天	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
安打	1	4	0	0	2	1	0	0	1	9

勝利打点＝レイエス　5回勝ち越し二塁打

勝　加藤貴　2試合1勝
敗　辛島　2試合2敗
▶本＝万波3号（辛島・2回）▶三＝水野▶二＝村林、吉田、レイエス、清宮幸

日本ハム		打数	得点	安打	打点	三振	四死	犠打	盗塁	失策	通算打率	本塁打	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨
（左）	吉田	4	1	2	0	1	0	0	0	0	.208	②	中飛……投安……右2三振…………
遊	水野	2	1	1	3	0	0	0	0	0	.115		……右3……左飛
指	レイエス	5	1	3	2	0	0	0	0	0	.406	②	中安……中飛……左2……遊ゴ左安……
（捕）	郡司	5	1	2	0	0	0	0	0	0	.300		遊併……三ゴ……中安……左飛中安……
（一）	野村	3	0	0	0	1	1	0	0	0	.258	③	……中飛……三ゴ三振……四球……
走中	五十幡	1	0	1	0	0	0	0	0	0	.167		……右安……
（三一）	清宮幸	3	1	1	2	0	1	0	0	0	.244	①	……二ゴ……二ゴ右2……四球……
打一	マルティネス	1	0	0	0	1	0	0	0	0	.091		……三振
（右）	万波	4	1	1	1	0	1	0	0	0	.205	❸	……中本……四球中飛……左飛……遊飛

打者（投

出塁率	得点圏打率
.521	.455
.489	.200
.378	.333
.373	.200
.368	.333
.340	.286
.350	.400
.314	.500
.394	.500
.300	.250
.370	.118
.298	.333
.269	.222
.320	.000
.262	.250
.282	.143
.342	.333
.300	.286
.229	.600
.250	.200
.351	.167
.244	.333
.310	.667
.283	.455
.297	.200
.250	.111
.342	.000
.275	.333
.250	.286
.216	.222
.239	.000
.270	.000
.229	.000
.182	.182
.171	.200

失点	自責点	奪三振率
0	0	7.31
1	1	7.47
4	2	5.40
6	2	4.40
2	2	11.08
2	2	8.31
2	2	10.66
2	2	4.50
2	2	9.75
2	2	5.73
3	3	7.11
3	3	5.73
4	4	6.92
5	5	5.14
5	5	8.56
6	5	5.54
5	5	3.27
6	6	6.35
7	7	4.15

出塁率	得点圏打率
.486	.500
.465	.214
.475	.444
.457	.600
.422	.643
.400	.429
.367	.556
.382	.286